

## ワークショップ 戦後直後の引き揚げと境界（仮）

共催：北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院

神奈川大学・プランゲ文庫研究会

日時：2014年7月21日（月） 午後1時～午後5時

場所：北海道大学 遠友学舎（札幌市北区北17条西8）

### 《プログラム》

開催挨拶－尹健次（神奈川大学）、玄武岩（北海道大学）

報告

- （1）学校教育の観点から見た戦後サハリンの「引揚」・「残留」・「移民」の問題  
パイチャゼ・スヴェトラナ（北海道大学）
- （2）サハリン島の境界変動と樺太の〈戦後〉：引揚げ・帰国・残留・移住  
中山大将（北海道大学）
- （3）大村収容所／釜山収容所の「境界の使命」  
玄武岩（北海道大学）
- （4）在日朝鮮人の密航を考える  
尹健次（神奈川大学）
- （5）近代日本の画定－国際法の視点から  
阿部浩己（神奈川大学）

コメンテーター

大里浩秋（神奈川大学）・元容鎮（立命館大学客員研究員・韓国西江大学）・

孫安石（神奈川大学）・泉水英計（神奈川大学）・天野尚樹（北海道大学）

※事前申し込み不要、来聴歓迎です

本ワークショップは、科学研究費補助金（A）「帝国日本の移動と動員」（研究代表者 今西一）の助成を受けて開催しております。